



倉持 健一 議員

茨城西南地方広域市町村圏事務
組合消防本部について

問 異常気象が各地にさまざまな災害をもたらしている。台風19号の影響で群馬県や栃木県に大雨が降った際、思川が危険だったと知り古河市民の意識が大きく変わった。決壊すると消防本部は水没してしまうため、三和地区に消防本部を移転したらどうか。

答（生活安全部長） 消防本部が置かれている場所は、国土交通

省が公表している最新の洪水浸水想定区域図において、利根川、渡良瀬川の氾濫があった場合、浸水の深さは5メートル以上10メートル未満と想定されている。消防本部庁舎は非木造であるが、水害の場合は浸水してしまうため、氾濫の危険性がある場合には三和分署へ退避する計画になっている。



本庁舎建設について

問 現在結城市は約50億円で5階建ての本庁舎を造っている。

答（健康福祉部長） 接種年齢やワクチンの有効性、安全性、接種後の起こり得る副反応の症状について、正しい情報を市民に提供していくことは必要である。今後、国の動向を見据えながら、広報やホームページを活用し、市民への情報提供について十分に検討する。



女性議会について

問 女性議会は、市政の取り組

また、視察した富士見市では、公共施設は1カ所に集中すると便利と聞いた。古河市中央運動公園のスポーツ施設と併設して文化施設や市役所本庁舎を建設すべきと考えるがどうか。

答（財政部長） 庁舎施設は、中核的な公共施設として、また災害発生時の拠点としての役割を果たすものである。総和庁舎は、新耐震基準の建物であるが、いずれも老朽化が進んでいる状況である。今後、庁舎の在り方の検討と並行し、施設の修繕、改修の時期、内容について検討していきたい。

《その他の質問》

・人手不足の解消について（人材派遣）



鶴見 久美子 議員

子宮頸がんについて

問 子宮頸がんの根本的な原因は、HPV感染によるもので、ワクチン接種と検診による発見、治療の併用による予防が重要視されている。HPVワクチン接種は、接種後の副作用の報告などにより、自治体は積極的勧奨を控えている。定期接種であること、ワクチン接種の有効性やリスクを対象者に対し、周知および接種勧奨することについて所見を伺う。

みや議会活動等を理解し、女性ならではの意見や要望を、市政に反映することが目的となっている。合併15周年のイベントの一つとして、新年度の開催を提案するが、所見を伺う。

答（市長） 女性の声政策決定に寄与することは、市政への参画を拡大し、また市政に対する市民の理解向上にもつながり、意義のあることと考える。令和2年度における女性議会の開催に向け取り組んでまいりたい。

答（生活安全部長） 女性が日頃抱いている市政への疑問や意見、提案を述べ、こうしたことが政策に反映され、実施されることは、結果として住みやすく、暮らしやすいまちづくりになるものと考えている。